



あてにならないバスには乗りません

高齢者や障がい者になり、8項目の予約をさせたり、降車先は香住駅表示



谷口 眞治 議員

不便・不安な予約バスは一旦中止を 単なる事務的質問はしないで下さい

示、予約なしでは乗れない、午前便の減便など12月議会で指摘した予約制町民バスの問題点の検討と改善について、町長の所見を問う。バスを間違えて相谷まで行った深刻事態も起こり、利用をあきらめる方が増えている。利用者の方が増えている。

町長 ①香住駅以外の降車場所と時間は時刻表に表示。②減便の回復は検討問題。③予約項目を減らすことは、案内オ

ペレーターが予約者を限定でき可能。④朝便の定時運行、⑤前日予約の見直し、⑥予約なし乗車はデマンドが基本のしくみによりできません。苦情はお聞きし、わずかながら変更しました。バスの乗り間違いを深刻事態と言われ、それが元で路線バスに戻せとはムチャクチャです。



菅政権がもくろむ「デジタル化」の工程表

	2020年度 (1月~3月)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
個人情報保護法の見直し	法案提出					
マイナンバーカードの普及	24.8% (1月23日現在)	ほぼ全国民に カードを交付				
社会保障・税・災害以外のマイナンバー利用		法案提出				
デジタル庁	法案提出	法案審議	デジタル庁の設置			
地方自治体のシステム標準化	法案提出		標準基調システムへの移行			
運転免許証のデジタル化					2025年3月	運転免許証とマイナンバーカードの一体化
マイナンバーカードの保険証利用		健康保険証として 利用開始	2021年3月から			
健康診断の記録	法制上の対応			自治体検診情報の提供開始		
外国人マイナンバーカードの一体化		法案提出		自治体検診システムなどの準備		
給付金や児童手当、生活保護などの公金の受取		特別定額給付金支給 給付混乱		オンラインによる 手続、即日給付		

標準化17業務 児童手当、住民基本台帳、選挙人名簿管理、固定資産税、個人住民税、法人住民税、軽自動車税、就学、国民健康保険、国民年金、障害者福祉、後期高齢者医療、介護保険、生活保護、健康管理、児童扶養手当、子ども子育て支援

※「マイナンバー制度及び国と地方のデジタル基盤の抜本的な改善に向けて(国・地方デジタル化指針)」より抜粋して作成

デジタルガバメントって？



山本 賢司 議員

デジタル庁、個人情報情報が危うい 国の方向で住民サービスの向上に努めます

国はデジタル庁設置、全国共通の電算システムを自治体に押し付け、個人情報をも民間の事業に使わせようとしている。行政情報を広く公開するこ

町長 県が推進してきたクラウドでは、経費削減にならず住民サービスの低下になりかねない、と進んでいません。国は昨年12月、デジタルガバメント実行計画で主要17

とは、進めるべきだが、住民の個人情報は確実に保護されるべきもの。個人情報をもうけのために使わせてはいけません。業務をクラウド化し自治体利用が義務化される予定です。これで経費は削減できますが、サービスまで統一される懸念もあります。地方の意見も出せることから、サービス低下にならないよう注視します。情報保護は最重視すべきものであり、デジタル庁へ民間人が入ること、民間利用とは別問題です。

